

授業科目 衛生学・公衆衛生学

【担当教員名】 和唐正勝	対象学年	2	対象学科	ｽｽ
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

人々の健康を保持増進するための取り組みについて、個人と社会の観点から学ぶ。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 衛生・公衆衛生活動の意義と目的について説明できる。
2. 疫学的病因論について説明できる。
3. 病気とその予防法について説明できる。
4. 環境と健康との関わりについて説明ができる。
5. 様々な保健衛生活動について、その取り組みの内容を説明できる。
6. 保健・医療制度とその動向について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1. 衛生・公衆衛生の歴史と概要 2. 病因論と疫学 3. 感染症とその予防 4. 生活習慣病とその予防 5. 環境と健康 6. 空気と健康 7. 水と健康 8. 母子保健 9. 産業保健 10. 老人保健 11. 精神保健 12. 保健制度とその活動 13. 医療制度とその活動 14. ヘルスプロモーション	1 講義 2 講義 3 講義 3 講義 4 講義 4 講義及び実習 4 講義及び実習 5 講義 5 講義 5 講義 6 講義 6 講義 6 講義	和唐

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	シンプル衛生公衆衛生学(鈴木庄亮, 久道茂編, 南江堂)			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 授業参加20%、試験80%	【履修上の留意点】
-------------------------	-----------